Simple Serial モニタ

ＳＳＭ－２３２２

取扱説明書

エムシーアイエンジニアリング株式会社
〒182-0024 東京都調布市布田１－４４－３
TEL 0424-87-9564　FAX 0424-82-9138

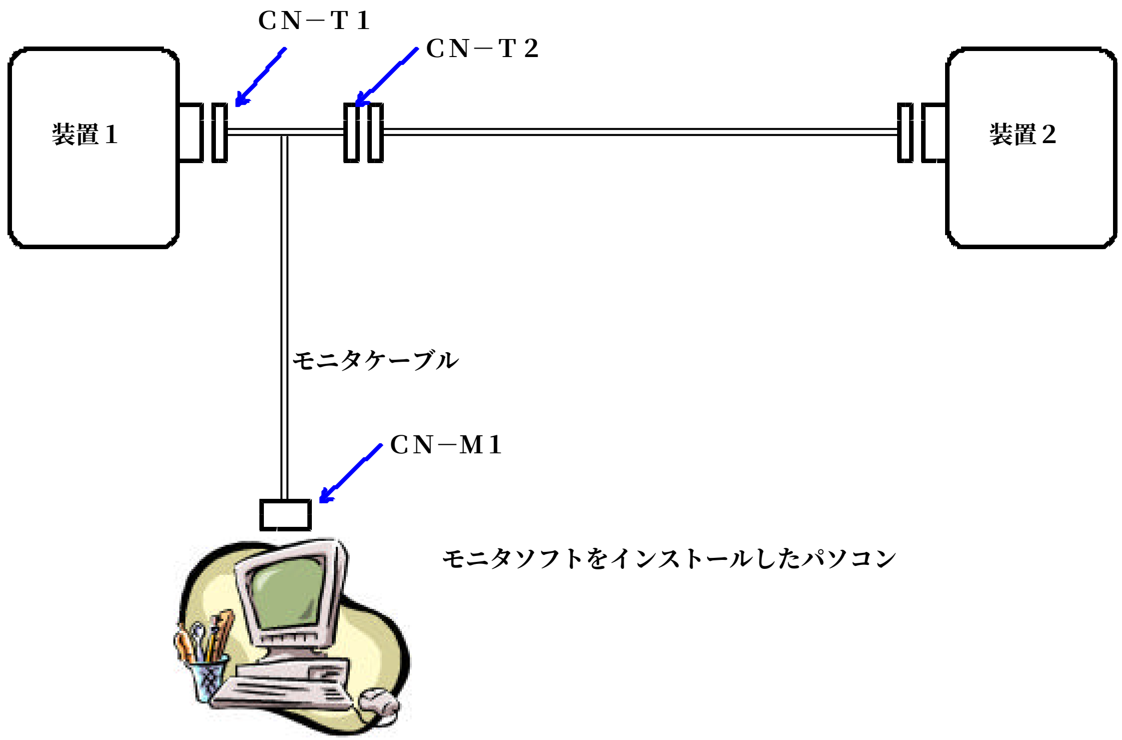
第２版　2003年02月24日

［１］概要

Simple Serial Monitor「SSM-2322」は各種の電子機器で汎用的に使用されているシリアル伝送（RS232C）を手軽にモニタし、装置やシステムのデバッグ・解析の補助として使用することを目的としています。

モニタケーブルを装置間、およびパソコンの RS232Cポートに接続し、モニタソフトを起動し、ボーレートなどを設定するだけで装置間の通信データをパソコン画面でモニタすることができます。

［２］ケーブルの接続方法



「ＣＮ－Ｔ１」、「ＣＮ－Ｔ２」コネクタをモニタしたい装置間に接続します。
「ＣＮ－Ｍ１」コネクタをモニタソフトをインストールしたパソコンの RS232C コネクタに接続します。

「ＣＮ－Ｔ１」、「ＣＮ－Ｔ２」、「ＣＮ－Ｍ１」コネクタは Dsub 9ピンです。

「ＣＮ－Ｔ１」コネクタと「ＣＮ－Ｔ２」コネクタの間は完全ストレート接続になっています。
送信データライン、受信データライン、ＧＮＤラインの３本は「ＣＮ－Ｍ１」コネクタにも接続されています。

ＣＮ－Ｔ１、Ｃｎ－Ｔ２のピン配列表

信号名	ピン番号		信号名
DCD	1		
		6	DSR
RxD	2		
		7	RTS
TxD	3		
		8	CTS
DTR	4		
		9	RI
GND	5		

ＣＮ－Ｍ１のピン配列表

信号名	ピン番号		信号名
	1		
		6	
RxD	2		
		7	
	3		
		8	
	4		
		9	
GND	5		

［３］使用上の注意

１：モニタケーブル

信号レベルはＲＳ２３２Ｃとなっています。
ＲＳ４２２、ＲＳ４８５などのモニタはできません。

ＣＮ－Ｔ１コネクタ、ＣＮ－Ｔ２コネクタの送信データと受信データをＣＮ－Ｍ１コネクタの中でダイオードを使って論理和（ＯＲ）されたデータをモニタします。
二つの装置が同時に送信動作を行った場合は正しいデータがモニタされず、ＯＲされたデータがログウィンドウに表示されます。